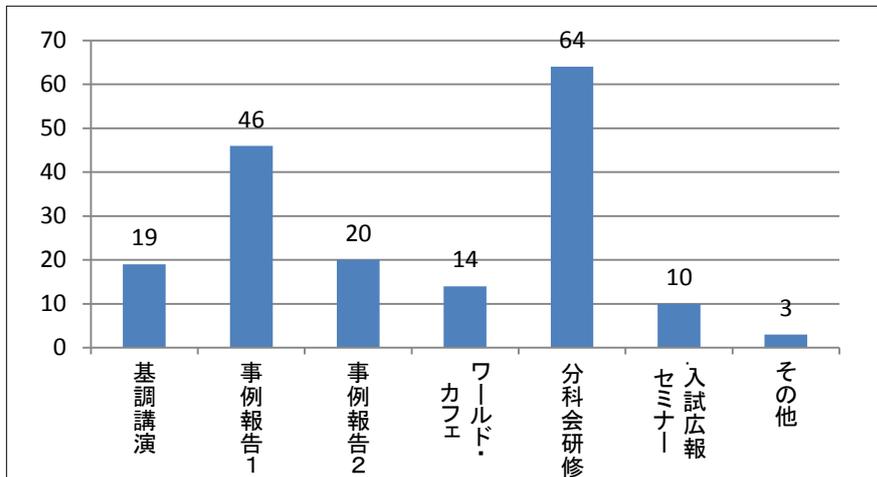


第18回「私立短期大学入試広報担当者研修会」アンケート集計結果

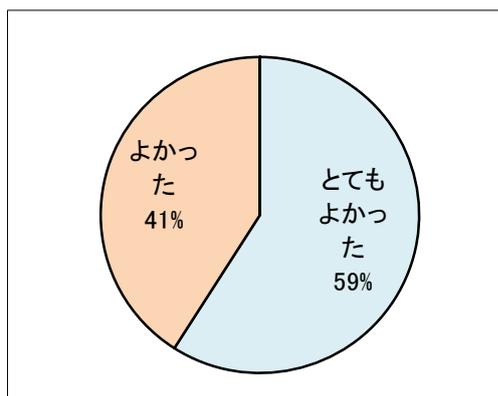
平成30年11月

参加者数 112名 ※運営委員10名を含む
 回答者数 98名
 回答率 96.1%

I. 本年度の研修会について、関心を寄せていた項目

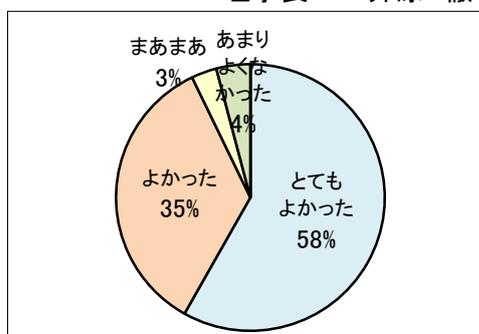


II. 本年度の研修会の評価



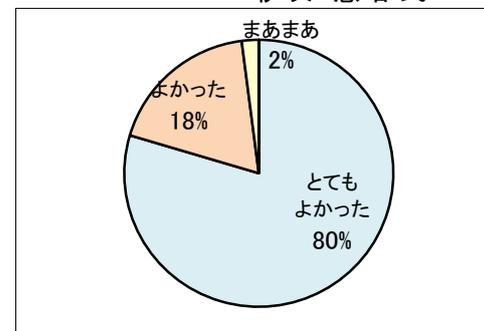
- 日頃からお会いすることのない全国の仲間にお会いできたことが一番の収穫です。
- 希望者のみの事前研修の企画ありがとうございました。
- 2日目の午後に他の分科会の報告をいただいたのが良かった。充実した時間だった。ありがとうございました。
- ワールド・カフェなど交流をしながら考える機会があったおかげで、自分自身の考えが少しずつ深まったと思った。
- 全体を通じて大学・短大の役割を意識しながら、目の前の課題でどう解決していこうとされているかに触れることができ、参加してとてもよかった。

III. 基調講演 学校法人実践女子学園 理事長 井原 徹氏



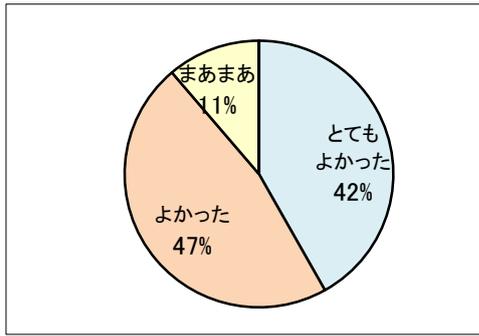
- 井原理事長の考え方や行動力、マネジメント、ガバナンスに共感できた。
- 広報をするうえで必要な姿勢を学ぶことができた。
- 普段あまり考えないことについて、噛み砕いてお話いただき分かりやすかった。
- リアルな短大・大学運営の一端を見られたことがよかった。

IV. 事例報告 I 女子栄養大学 伊吹 憲昭氏



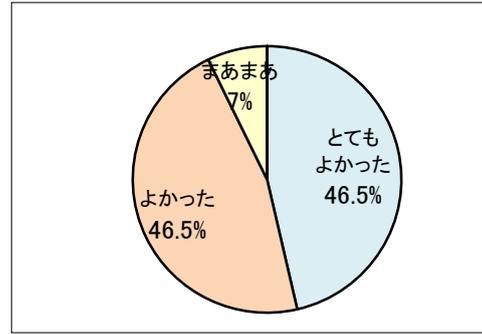
- 参考になる具体策ばかりだった。
- 本学でもできる事例を少しずつ取り入れてきたい。
- 話の内容が具体的でとても分かりやすかった。
- 現場の声を聞き、その声を形にするという徹底的な姿勢に圧倒された。

V. 事例報告Ⅱ 富山短期大学
小比賀 誠氏



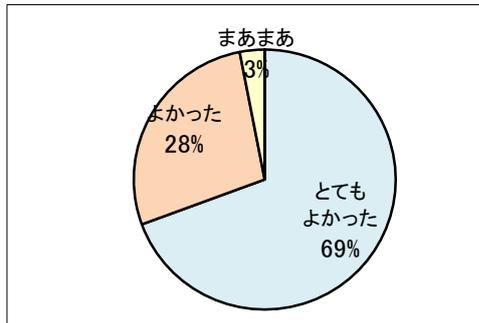
- 同じような悩みが多く、共感することができた。
- 集客、内容、フォローの各段階で改めて振り返れたことはとても良かった。
- オープンキャンパスの実践について、内外の具体的な事例が知れて参考になった。
- テーマの設定の重要性を感じた。学生の活用について検討すべきと感じた。

VI. ワールド・カフェ



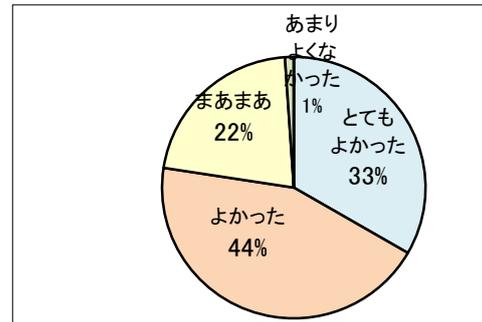
- 多くの方との交流の時間として貴重な時間だった。
- 違う分科会の方とも交流できた点が非常に良かった。多くの方の意見、考えを聞くことができ、有意義な時間だった。
- 悩みや課題に共通点がいろいろあった。
- 共有できることがこんなに「楽しい」ことだと思わなかった。置かれた環境・立場が少しずつ異なる皆さんのアイデアや思いを聞き、視野を少し広げられたような気がする。

VII. 分科会研修



- 他大学と情報共有ができてよかった。
- 想いを共有でき、大変良い時間を過ごすことができた。
- 一番勉強になった。悩みを共有できたことが一番の財産である。
- 今自分が帰ったらやるべきことが見つかった。

VIII. 入試広報セミナー 株式会社さんぽう
柴崎 修氏



- 短大のおかれている現状や課題について知ることができた。
- 短期大学ならではの魅力発信が必要だと感じた。
- 短大のアピールポイントがとても参考になった。
- 専門学校と短大の入学率についての箇所が印象に残った。